

ハイライトよねやま 75

(財)ロータリー米山記念奨学会

2006年5月12日発行

1. 寄付金速報 ~クラブ創立記念特別寄付のお願い~

4月までの寄付金は、前年同期と比べ0.4%増、約470万円の増加でした。普通寄付金が0.2%減、特別寄付金が0.7%増です。これで10カ月連続して前年度寄付累計額を上回りましたが、4月単月の寄付額は前年度から1500万円も減少しています。5~6月は毎年、クラブ創立記念特別寄付が多くなる月です。10万円以上ご寄付いただいたクラブには記念の盾をお贈りしておりますので、ぜひともご協力ください。

また、4月末時点で普通寄付金を納めていないクラブが58クラブあります。2005-06年度も残りあと2カ月を切りました。ご送金が遅れているクラブはお早めにご納入いただきますようよろしくお願い申し上げます。

2. 「現地採用奨学金」の一次試験が実施されました

2006年度からの新制度としてベトナムで試行が開始された「現地採用ロータリー米山奨学金」。現地の新聞による募集広告には約300件の問い合わせがあり、44名の応募がありました。44名の内訳は、男性14名・女性30名、理系16名・文系26名、その他2名です。4月17日に筆記試験(英語と小論文)を実施した結果、上位26名の一次試験合格者が決まりました。



筆記試験に取り組む受験生たち
(2006年4月20日トイチェ紙HPより)

今後は、近藤雅臣学務・学友委員長(第2660地区理事)を中心とした選考委員会が書類選考を実施し、面接候補者20名を決定。6月28日には、現地学友および近藤委員長、坂下事務局長ら面接官による面接試験が行われ、10名が選抜されます。

12月の最終面接では、日本側の受け入れ地区のロータリアン代表者、および学務・学友委員代表者がベトナムへ出向き、最終合格者2名を決定します。合格発表は2007年2月前後、入国は同年4月~9月を予定しています。

3. 『カウンセラー・ハンドブック』を発行しました



巻末には『奨学生ハンドブック』も
ついています!

『米山奨学生ハンドブック』に続き、2006学年度版の『米山カウンセラー・ハンドブック』を発行しました。

毎年好評をいただいているQ&Aのページは、「カウンセラーメーリングリスト」に寄せられた意見などを参考にしてさらに充実させたほか、4月から改定される補助費(奨学生の医療費補助廃止・カウンセラー補助費廃止・世話クラブ補助費増額)に関するページを新しくしました。

世話クラブとカウンセラーには4月中旬にクラブ宛に送付しており、オリエンテーションやカウンセラー研修会などの資料としてもお使いいただいています。

新しくカウンセラーに就任された方はもちろん、継続カウンセラーの皆さまも、是非お目通しください。

4. 日本の助成財団で助成額第3位、民間では今年も第1位に！

今年も、ロータリー米山奨学金が民間最大の奨学事業であることが確認されました。

(財)助成財団センター(東京都・新宿区)が今年2月に発表した「2004年度助成等事業費上位100財団」によると、ロータリー米山記念奨学会の年間助成額はおよそ15億4千万円で、大阪府育英会、車両競技公益資金記念財団に続いて第3位でした。順位は昨年と変わらず、民間財団では今年も第1位となっています。詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

資料提供 (財)助成財団センター <http://www.jfc.or.jp/>
助成等事業費上位100財団リスト http://www.jfc.or.jp/bunseki/rank_grant.html

5. 韓国ロータリー奨学文化財団理事長が『ロータリー 코리아』に米山奨学会を紹介

今年2月、韓国ロータリー奨学文化財団の理事長、朴鍾允氏(第3680地区パストガバナー)が来訪し、島津理事長、宮崎専務理事、坂下事務局長との、懇談の場がもたれました。この訪問について、朴氏が2006年4月号『Rotary Korea』に寄稿した文章を抜粋してご紹介します。

(訳: 第2750地区米山学友 韓正芽さん)

崇高な設立理念に感動、また感動！

私は2006年1月に韓国ロータリー奨学文化財団の理事長に就任して以来、我々の先駆けである、日本のロータリー米山記念奨学会を訪問したいと考えていた。特に、奨学生に毎月14万円という大金を、それも外国人留学生だけに与えているのはなぜなのか。これに対し、島津理事長は次のように説明してくださった。

当時、この事業を設立するにあたり、第二次世界大戦で日本が犯した過ちに対する反省から、平和への道づくりをしようとの考えがあった。そのため、主にアジアからの留学生を中心に奨学金を与えるようになったということであった。そして、これまでに恩恵を受けた米山学友は、韓国が最も多いという。

私は感動し、我知らず賛辞を述べずにはいられなかった。そして、島津理事長の気さくなお人柄やお言葉にも、尊敬の念が自然と湧き起こった。毎年15億円の奨学金を支給しながら、70億円もの資産を保有している米山奨学事業。私はそこから我々とは違った姿を見ることができた。我々もこれからは国際化の時代に合った財団運営へ変革しなければ、と強く思った。(韓国ロータリー奨学文化財団理事長 朴鍾允)

4月からは新しい奨学生番号になります！

毎年、新規に採用された奨学生には、4月から奨学生番号が与えられます(Aから始まる5ケタ 例:A0165)。番号は、地区へ送付した奨学生一覧表や確約書、世話クラブへの委嘱状に記載されています。なお、昨年からの継続奨学生も、4月から奨学生番号が変わります(Bから始まる5ケタ 例:B0273)。新しい番号は、本人へメールでお知らせします。米山奨学会への申請の際は、新しい奨学生番号を使うよう、ご指導ください。

(財)ロータリー米山記念奨学会 編集担当: 野津・峯・大庭
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel: 03-3434-8681 Fax: 03-3578-8281
E-mail: highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL: <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>